	No. 24 —				支払交付金事	業事	務事業	名多	面的機能	支払る	交付金事	業	公的関与	9 シ	ート作成日	3 4	令和元年	E7月8日
	部局名	産ӭ	業経済部		課名		地整備	課	主務認	果長名	3	笠扌	‡ 和芳	シー	-卜作成者	名		禹 英樹
	事業区分	○ 1 ソフト事	業	0	3 経常的事務	多事業	•	5 補助	金•負担金	ì·支i	援	秦]雷克	営方法 -	1 直			3全	部委託
	争未应力	○ 2 ハード事	•		4 施設の維持	持管理	0	6 内部	管理事務		他	未建。	五刀 压		·部委託		✓ <mark>4補</mark>	助等
		基本構想(政策							実施計	画					の開始・絲			
	総合計画	基本計画(施第						()1 該当		平			<mark>~</mark> 令	和	年	✓ <mark>期間</mark>	設定なし
		主要施策	(1)	第2次農	業振興計画の	策定		С)2 非該当	4	根	拠法	令等					
		対象(誰を、 何を)	慢地•農美	業用水等の	の保全のための)地域農	業を中	心とする	る活動組織									
	事業の 対象・目的	目的(どうい 5 対態にし	晨終的	阿波市内	の遊休農地、精	讲作放到	乗地の解	解消と農	地農業用才	く等の)資源や農	村環	境の質的[句上を図	ります。			
PL		たいのか) 4	今年度															
AN		具体的にどの。			ヽますか。(主フ	なもの	5つまで	<u>:</u>)										
N		① 資源の適切																
	事業の	② 施設の長寿																
	活動内容	③ 生態系保全	≧、景観;	形成など別	農村の環境を艮	くする	古動											
		4																
		⑤ 指標名		= ///- // -	7 (4 +15 4 = - 0, - 5 - 1)	э д Г ;	* / <u>_</u>			00	左曲	77	7 00 <i></i>	- #	△1 n		- -	目幼口柵
		拍标石		計算式と	ては指標設定理	単田	単位	目標	平成	29	千及 2150	1	☑成 30 叠	F 及 2150	令和	1 4	丰度	最終目標
	数値目標	事業対象面積						実績			2134			2120				
	(事業の目的 及び活動内							目標			2104			2120				
	容の達成度							実績										
	を測る指標)							目標										
								実績										
	予算費目	会計	'	一般	会計	•	款	6	_		項	2			目	1		
			平	成 2	9 年度決	算 -	平成	30	年度決	算	令和	1	年度	Ŧ予算			備考	
		国庫支出				千円				千円				千円				
			金		118,253	千円			116,636	千円			129,40	05 千円				
	直接事業費		債			千円				千円				千円				
D	臣以于不良	その他特定財				千円				千円				千円				
0			源			千円			38,096					19 千円				
		計(A)	#	200 1	158,324		1.000		154,732		1.000			24 千円				
		正職員工数・経		000 人	5,930	千円	1.000 .		5,805		1.000			38 千円				
	人件費(B)	臨時·嘱託職和			務職員	- m	1.000	事務即					払交付事業					
		臨時·嘱託工数·経	寶 1.(000 人	2,814		1.000 .	<u>۸</u>	2,814		1.000	ᄉ		18 千円				
	王仲争	業費(A+B)			167,068	十円			163,351	十円			180,78	30 千円				

					ェック項目					_	−次評	価		_	-次評価の	り説り	月		二次	評価	i i
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな			少ない	ι ν (大意	きい	疎化•高	業用水等 <i>0</i> 齢化・混住	化等	の振興	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政が	犬況の中、次	年度以降第	€施す	トる緊急性が認	恩められなし	۰. 🔾	ない	(ある	3	に伴う集業	落機能低 理が困難	下によ ノニナシン	り、そってきて	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の応	句上のために、	現在の手具	殳、方	法等の改善の無	余地がある。	0	ある) なし	۸,	いる。	はない四無	1-/4-	7626	•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーヒ			1隣自	目治体と比較し	ノてニーズを		いる	(いた	いに					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	こ、事業内容	字が必	がずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	はい(いえ	える		みで効率(することに			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえた	はい(いえ	える	農業用水	、路等の資	源の		0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で	類似・重複	复した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	(しな	iι	質的同上	:を図ります	Γ.		0	する	•	しない
KOHHOK		4.	事業の継続を	としても成果	の向上が其	明待で	ごきない 。		0	できた	まい (でき	きる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状	況が劣って	こいる	らと思う。		0	目標	に比べて	劣ってし	いる		業用水路等)良好な保			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	けして成果が	あまり上か	バって	こいないと思う	5 。	0	あまり	上がって	こいない			成されてし		를 마기나기 *	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		0	概ねぇ	 達成して	いる		1				•	概ね達成	してい	<u>る</u>
		4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成		こいると思う。		0	十分	達成して	ている						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高	ر١ _°				0	高い		適	当		は、活動i する組織 ⁻			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウ	や新たな制	削度を	を活用できる。		0	できる	3 (でき	きない	その全て	の実施確	認を行		0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施引	-段等	学を見直す余地	也がある。	•	ある) なし	۸,	が、難しく	くなっている	5.		0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などにより	ノコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	(なし	,1	1				0	ある	•	ない
					_	次評	価								=	次評	価				
	評値	三点	必要性	有効性	達成	芰	効率性		評価			要性	7	有効性	達成原	支	効率性	生	総	合評	-価
	△ %	を の	3 ○ 拡大·充	 4 :宝 ○ 珇	_ 4 _ 状維持		<u> 3 </u> 方法改善	〇 民間委	A ≷託笙			3 太大•新	 	4 ┃ <mark>●</mark> 現状	3 犬維持	$\overline{0}$	<u>4</u> 方法改割	£		A 表	 £笙
		句性			<u>終期設定</u>	Ö	<u>/// </u>	〇 民間3	ζηί η	_		小		統合/終			<u> </u>		U KIE]女巾	L 11
A	/31) ind 1		- 741HX /C						<u> </u>	3.3			指摘事項				の相違点	į	
ACT-O							活動組織に制 う対応が必要。		知徹底		<u> </u>	↑ ‡继 台比 幺			性化を図						+
N	と多	革案 実行 画	県の行う事務 者向けの説明			(、制)	度変更の周知	ーーー 散底のため、	事務担		良がい	,1925 月七平	性1寸 (- ⊁Ľ⊁亥, Vノ /白	I II IL ί	a1∶α	ノ、神空形にし	く す :	木で批進	U & 9	•
		員会 i事項																			

	No. 24 —	2 基本事務事	業名森	林病害虫	等防除事業	事務	事業名	森林病害虫	等防防	(事業	公的関与	6 シ	一卜作成日	令和元:	年7月8日
	部局名	產	 業経済	部	課名	農地	整備課	主務	課長名	i i	笠井 和芳	シー	-卜作成者:	名	中 卓
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務	海業	5 有	助金·負担:	金·支护	爱 東 翌	美運営方法	1 直	営	✓ 3 ≦	全部委託
	争未区力	② 2 ハード			4 施設の維持	管理	〇 6 🗗	可部管理事務	・その	他	建舌刀丛		-部委託		甫助等
		基本構想(政	(策) 4.	豊かで活	力ある阿波			実施記	画			事業	の開始・終		
	総合計画	基本計画(施	策) (1)農業の扱	長興と森林の保	全		● 1 該当		平原	左	<mark>~</mark> 令	和	年 🗵 期間	設定なし
		主要施策	(7)森林の伊	全・育成と活月	1		○ 2 非該	当	根	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	土柱周边	辺の自然環	境の維持										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	土柱の景	観を維持します	0									
PL		たいのか)	今年度												
AN		具体的にどの	りような	活動を行し	ヽますか。(主な	はもの5つ	まで)								
N		① 松くい虫(の駆除委	託(伐倒駆	除•樹幹注入)										
	事業の	2													
	活動内容	3													
		4													
		5													
		指標名	2	計算式又	スは指標設定理	由単位			29 4		平成 30		令和	1 年度	最終目標
	数値目標	特別駆除		グリンガ-	ード使用本数	本		標		300		300		300	
	(事業の目的	1 3 23 3 65 123		, ,, ,,			美			182		177			
	及び活動内	松くい虫による	倒木数			本		標		0		0		0	
	容の達成度 を測る指標)						美	績		11		1			
	と (大) の (日 (木)							標							
	マケまっ	会 計		60.	소리		実			+=	。叶业			<u> </u>	印建
	予算費目	会 計	l v		会計 9 年度決算			農林水産費 0 年度》		項 令和	3 林業費	度予算	目	1 林業振! 備考	兴 复
		国庫支出		广队 2		异 十 万 F円	<u>火</u> 3	0 牛皮病	下异 千円	ካ শ	1 4	· 及丁 异 千円		1佣/与	
		県支出	金		757 =				千円			千円			
		地方	債			F円			千円			千円			
D	直接事業費	その他特定則				f用			千円			千円			
O		一般財	源		590 			1,243			3	265 千円			
		計(A)	****			f円		1,243				265 千円			
		正職員工数:	経費 0).100 人	593		00 人	581	千円	0.100		604 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯									·				
		臨時·嘱託工数·).000 人	0 _∃	f円 0.0	00 人	0	千円	0.000 ,	λ	0 千円			
	全休事:	業費(A+B)		-	1 940 =	fЩ		1 824	壬田			869 壬四			

					チェ	ック項目					_	·次評(Щ			一次評	画の説	明		二次	(評估	Б
		1.						が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	. •	大き	٤L١	景観を	Aに隣接し 保全する	ことは、	阿波市	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	伏況σ	中、次年	F度以降実	€施す	上る緊急性が 認	忍められない。	0	ない	0	ある	1		資源の開 ₹た、土村		Rにもなり	0	ない	•	ある
	性							法等の改善の		0	ある	0	ない	١	境の多	様性の係		次かせな	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサー				「隣自	目治体と比較し	ノてニーズを 	0	いる	•	いな	il1	いもので	です。			0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現す	るために	、事業内容	学が必	がずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	い (いえ	.3		景観を保せない樹		には、松 ・つであ	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマ	ンネリ	化など、旅	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 🔘	いえ	.る	り、現在	E行ってし	る防防		0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策	その中で類	頁似・重複	更した	と事務事業が存	存在する。	0	する	•	しな	(J)	大发有	効な手段	です。		0	する	•	しない
HEC		4.	事業の継続	をして	も成果の)向上が期	明待で	できない。		0	できな	い	でき	·S	<u> </u>				0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して	進捗状況	ぴ劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて	劣ってし	いる		取り入れなくなった		で被害は	0	目標に比	べて針	らっている
	達	2.	目標設定に	対して	成果があ	ちまり上か	うて	こいないと思う	5 。	0	あまり」	Lがって(いない		ال الرد عار	G (.G)/-	.0		0	あまり上か	べつてし	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して	概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						•	概ね達成	してし	る
		4.	目標設定に対	対して	十分に目	目標を達成	tして	ていると思う。		0	十分達	を成して	いる		<u> </u>				0	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコス	くトが高し	١,				0	高い	•	適当	当		境譲与税 事業の継		すること 能にな	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主	体のノ	'ウハウギ	か新たな制	度を	を活用できる。		0	できる	•	でき	ない	り、又、	土柱周辺	の景観	見も維持	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員の	と成集	見の関係で	き、実施手	段等	ទを見直す余 地	也がある。	0	ある	•	ない	١	できます) ₀			0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法	もの変更な	こどにより	リコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない	١					0	ある	•	ない
							次評										二次評					
	評値	西点	必要性	1	与効性 4	達成[艾	効率性 4	総合評	′価		必要	性	1	<mark>有効性</mark> 4		戊度 3		生	総	合言 A	F 価
	今往	を の	 拡大· ź	 : :実			0	1 . 1 -1 -24	○ 民間委託	托等			大・充	<u></u> 実	-	 状維持		<u> </u>		〇民間]委	 托等
A	方向	句性	○ 縮小	0	統合/終	期設定	0	廃止/休止		_		○ 縮	小	0		終期設定		廃止/休				
ACT	. 12 =				<i></i>									二次	:評価で	の指摘	項及	び一次評	価と	の相違点	ā	
Ţ		町の│ !題	土柱の松林の	の維持	管理に努	めます。																
10	HPI										F	1 本 早 年	= ~ 4	#+± &	\+ \L \ \ \ \ \	ル体しては	- ** + d	21/21				
Ň	改革	革案	毎年度、計画	前的に	松くい虫σ)駆除を行	いま	す。			連	以汉京的	説の利	±持0.)7こ&)、和	≛続し € 刳	∓を∌	€施します	D			
	と 計	と行し ・画																				
	委員	員会																				
	指摘	事項																				

	No. 24 —	3 基本事務事	業名 鳥兽	鮲被害対策				鳥獣被害対	策事業		公的関与	2 シ	/一ト作成日	令和元年	₹7月1日
	部局名	卢	產業経済	部	課名	農地螯	と 備課	主務	課長名	竺	班 和芳	シ-	ート作成者名		╽ 佳彦
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務	事業 (5 補	助金·負担s	金・支持	重 士	軍営方法	<u>√</u> 1 [直営	3 全	€部委託
	争未区力	O 2 11-1			4 施設の維持	管理() 6内	部管理事務	・その	他	生 占刀丛	√ 2 -	−部委託	✓ 4 補	亅
		基本構想(政						実施記	一画				€の開始・終う	7	
	総合計画				興と森林の保	:全		● 1 該当		平成				☑ 期間	
		主要施策	(3)	農用地 σ)保全			○ 2 非該:	当	根拠	·法令等	鳥獣の保護	隻及び管理並び に	ニ狩猟の適正	化に関する法律
		対象(誰を、 何を)	市民(農	業従事者)											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	有害鳥獸	による農作物及	び山林の袖	波害を軽	経滅します。							
PL		たいのか)	今年度												
A					ゝますか。(主な	ネもの5つラ	まで)								
N		① 鳥獣被害			IJ										
	事業の	② 有害駆除		-続き											
	活動内容	③ 駆除の実													
)	者の育成	以(狩猟免討	F取得費用の助	成)									
		5	_	T=1.55 10											
		指標名	<u> </u>	計算式又	(は指標設定理	由単位			29 4	丰度	平成 30	年度	令和 1	年度	最終目標
	数値目標	駆除回数				□	実								
	(事業の目的 及び活動内						目								
	及び活動内 容の達成度	狩猟免許取得者	数			人	実								
	を測る指標)						目		2.9	380,000		,880,000		2,880,000	
		被害額				円	実			318,768		,000,000 ,073,496		2,000,000	
	予算費目	会 計		一般	会計			農林水産業			林業日	,070,100	a 1	林業振興	里
	7 77 70 1	n.	平	成 2						令和		度予算		備考	
		国庫支出				f円		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	千円				平成29年度		目標の変更
		県 支 出	金		2,719 =	f円		4,504	千円		5,5	545 千円	また、H30以	降の数値	について
	直接事業費	地 方	債		=	f円			千円			千円	は、予算細	目の鳥獣を	対策事業費
D	但按爭未貝	その他特定原	財源		Ŧ	f円			千円			千円	の金額及び		
0		一 般 財	源		4,098 =			5,765			,	987 千円	対策協議会ている。	ア昇の剱	他を入力し
		計(A)			6,817 =			10,269				532 千円			
	I to the	正職員工数:		500 人	8,895	F円 1.500	0 人	8,708	千円	1.500 人	9,0	<mark>)56</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託耶					, ,								
		臨時·嘱託工数	·経費	人	0 =		人		千円	人		0 千円			
	★ 全体事業	業費(A+B)			15,712 =	F円		18,977	千円		20.5	588 千円			

				チ:	ェック項目					_	·次評(西		_	-次評価の	の説明	月		二次	:評価	ī
		1.	市が実施しな主体があり、				が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少なし	,	大き	い	農作物等 要な施策	の被害防 です。	止の	ため、重	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次	年度以降第	を 施す	トる緊急性が認	忍められない。		ない	•	ある						0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の向]上のために、	現在の手段	设、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない						•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			[隣自	目治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いない	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	選現するために	、事業内容	学が必	がずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	い (いえる	3		さサル、カ とにより、§			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえる	3	出没回数	の減少に	つなれ	がってい	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で	類似・重複	更した	と事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	۱۱.		隻だけでな 防止柵な			0	する	•	しない
KOMEO		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	月待て	ごきない 。		0	できな	い (できる	3		とも必要			0	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	して進捗状況	況が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る		の捕獲で			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果が	あまり上か	うて	こいないと思う	5 。	0	あまり.	上がってし	いない		も、イノシ	シやサル	が近	寄らなく	0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		•	概ね遺	成してし	いる		なったとの	の声があり	ます	0	•	概ね達成	してい	გ
	/2	4.	目標設定に対	して十分に	目標を達成	えして	こいると思う。		0		を成して							0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高	ر۱ _°				0	高い	0	適当	í		類、駆除	方法に	こより効	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制)度を	・ を活用できる。		0	できる	0	できた	ない	果が異な	ります。			0	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施手	-段等		 也がある。	•	ある		ない						•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更	などにより	リコス	スト削減の余地	 也がある。	0	ある		ない						0	ある	•	ない
					_	次評	価			Т					=	次評	価				
	評値	五点	必要性	有効性	達成	叓	効率性	総合評	平価		必要		1	可 効性	達成原	支	効率性	生	総	合評	価
		後の	3 ○ 拡大·充	生 1 日 担	<u> 3 </u> 状維持	0	<u> 3 </u> 方法改善	A ○ 民間委託	1生	1	3 ○ 拡:	 大・充	<u></u>		3		<u> 3 </u> 方法改善	É		A 引表記	4笙
		り性	○ 縮小		^{医神}	0	<u> </u>	〇 以间安	16 17		○ 縮·			統合/終		ĺ	<u> </u>		O KIE	リ女巾	L#
A	75.		O 4111 3	<u> </u>	~ // II / / C		<i>(</i>), (), ()				<u> </u>	_			指摘事項				の相違点	į	
ACT-O			猟友会員数が す。	減少していく	中で、どの	ように	こして、被害を応	方いでいくのか	が課題		宇島調	獣によ	る農	産物の被	害を防止す	するた	め、継続	して防	方除や捕獲	隻なと	ご総合的
N	と多	[行	引き続き、猟友 の防除が出来 除の双方の観	るように、管理	理捕獲と併	せて	進入防止策の	整備を進め、抗		ე 1]	二対策を	を進める	ます。	0							
		員会 事項																			

	No. 24 —	4 基本事務事	業名 治L	山整備事業	業	事務事	業名県	<u> </u> 単治山事業				シート作成日	令和元年	
	部局名	卢	E業経済 [·]	部	課名	農地整	備課	主務課長	名	笠扌		シート作成者名		山 佳彦
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務	事業	5 補助	カ金・負担金・支	:援	李洱	- T - T	直営	✓ 3 全	全部委託
	争未区力	② 2 ハード			4 施設の維持	管理 🔘	6 内部	『管理事務・その	D他 [*]	木廷		2 一部委託		助等
		基本構想(政						実施計画			事	事業の開始・終		
	総合計画				興と森林の保)1 該当			27 年 ~	令和 2 年	期間	設定なし
		主要施策	(7)	森林の保	全・育成と活用	1	(● 2 非該当	7	拫拠法	令等 徳島県	具林業関係事業:	補助金交付	要綱
		対象(誰を、 何を)	治山事業	だが必要な	地域•箇所									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	市民また	地域住民が安心	して生活で	きるように	山林の環境・基盤	きの整備る	を行いる	ます。			
PL		たいのか)	今年度											
AN					ヽますか。(主な	もの5つま	で)							
N		① 治山工事		間査と施工										
	事業の	② 測量設計	事務											
	活動内容	3												
		4												
		⑤ 指標 ²	b	三ケナマ	7.14比捷凯卢田	山 光 丛		<u>ਜ਼ੂਜ</u> 00	左岳	T of	7世。60 左连	令和 1	左岳	目幼口描
		1日信:	<u> </u>	計界スメ	(は指標設定理	由単位	目標	平成 29	平 及	1	Z 成 30 年度	<u> </u>	年度 1	最終目標
	数値目標	工事箇所				箇所	実績		-			1 _		
	(事業の目的 及び活動内						目標							
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会計		一般	会計	款		林水産業費	項	3	林業費	目 2	治山費	
			平	成 2	9 年度決算	平成	30	年度決算	令和	1	年度予算	算	備考	
		国庫支出				·円		千円			7	一円		
		県 支 出	金		1,500 千	·円		1,500 千円			1,700 =	千円		
	直接事業費	地 方	債		Ŧ	·円		千円				千円		
D	巨孩子不良	その他特定				·円		千円				千円		
0		一般財	源			·円		2,205 千円			2,100 =			
		計(A)	/= +h		3,591 ∓			3,705 千円			3,800 =			
	1	正職員工数:		200 人	1,186 T	円 0.200	人	1,161 千円	0.200	人	1,208 =	千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		, 1				0 ==		, ,				
		臨時·嘱託工数 業費(A+B)	·栓質	人	0 1		人	0 千円 4.866 千円		人	5.008 =			
	■ 王冲事:	未貝(ATB)			4,/// +	- [-]		4,000 十円			5,008 -	-		

						ック項目					_	次評値	西		_	-次評価(の説	明		二次	:評価	Б
		1.						で確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	•	大き	٠L١	広く治山	:おいては 関係の改 [,]			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	伏況の中	、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	恩められない。	0	ない	•	ある		所も多くな	あります。			0	ない	•	ある
	性							法等の改善の余		0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いない	(1					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するが	ために.	、事業内容	『が必	ずしも適切とに	はいえない 。	0	いえな	n o	いえる	<u>გ</u>	県の補助 す。	事業を有	効に	利用しま	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化な	ど、旅	亜策への 貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	n 💿	いえる	る	, ,				0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の	中で類	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	い					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続	をしても	成果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	n o	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進	捗状汤	記が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る	治山の危す。	で うない で かっこう で かっこう かいま で かっこう かいま で かっこう かいま で かいま	整備	ができま	0	目標に比	べて劣	うっている
	達	2.	目標設定に対	対して成	果があ	まり上か	うて	いないと思う	; 。	0	あまり」	_がってし	ハない		7 0				0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概	ね目標	を達成し	てじ	いると思う。		•	概ね達	成してに	いる						•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十	分に目	標を達成	えして	いると思う。		0	十分遺	成して	いる						0	十分達成	してに	る
		1.	効果に比べて	てコスト	が高い	١,				0	高い	0	適当	á	毎年の事進みます	業の実施	によ	り整備が	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主	体のノウ	ハウギ	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	ない	足のなり	0			0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員の	と成果の	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の	変更な	さどにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
							次評	•• •									次評					
	評值	西点	必要性	有效		達成原	芰	効率性 4	総合評	[個		必要	性	₹	<u> </u>	達成/	芰		生	総	合評	描
	今後	を の	□ ¼ ○ 拡大· ź			【 維持		 方法改善	A ○ 民間委託	托等	(大 • 充	 実	 ● 現状		П	 方法改善	善		<u>A</u> 引委記	 托等
A		句性	○ 縮小			期設定		廃止/休止) 縮/	<u>/</u> \	O	統合/終		Ō	廃止/休	止			
C													-	二次	評価での	指摘事項	頁及(ゾー次評	価との	の相違点	į	
Ţ	当可課		近年の異常領 惧されます。	気象による	5大雨	等により、	保安	林の地すべり	及び山腹等の	前壊が	が危											
0	H-1														林を守り、	森林の持	つ多	面的機能	を維持	持するため	カにょ	∆要で
N		草案 日 行	毎年度、危険	○笛記去 占	. i 소i	数准な図	U±4	-			9	。事業	を継続	続しま	きす。							
	計		毋	は回げで 5	代でし、	光淵で凶	ソより	0														
		員会 事項																				

事業区分 ○ 1 ソフト事業 ○ 4 施設の維持管理 ○ 6 内部管理事務・その他 事業運営方法 □ 2 一部委託 □ 4 補 整合計画 基本構想(政策) 4. 豊かで活力ある阿波 実施計画 事業の開始・終了 基本計画(施策) (1) 農業の振興と森林の保全 ● 1 該当 平成 年 ~ 令和 年 ② 期間 主要施策 (7) 森林の保全・育成と活用 ○ 2 非該当 根拠法令等 市民等の森林所有者及び関係団体 最終的	助等 安定なし
事業の 対象・目的 事業の活動内容 日的(どうい う状態にしたいのか) 大態にしたいのか) お動内容 日前の管理と整備 日前のどういますか。(主なもの5つまで) 日本もの方法を関係を表す。(主なもの5つまで) 日本を図り、株業農家経営安定のため林道の整備を行います。 日本を行います。 日本を図り、大学・日本の方式・	助等 安定なし
A	设定なし
総合計画 基本計画(施策) (1)農業の振興と森林の保全 ● 1 該当 平成 年 ~ 令和 年 ② 期間記主要施策 (7)森林の保全・育成と活用 ○ 2 非該当 根拠法令等 対象(誰を、何を)	
主要施策 (7)森林の保全・育成と活用 ② 2 非該当 根拠法令等 対象(誰を、何を) 市民等の森林所有者及び関係団体 目的(どういう状態にしたいのか) 今年度 具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで) ① 林道の管理と整備 ② 活動内容 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 29 年度 平成 30 年度 令和 1 年度	
PLAN 対象(誰を、何を) 市民等の森林所有者及び関係団体 目的(どういう状態にしたいのか) 今年度 具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで) ① 林道の管理と整備 ② ③ ④ ⑤ 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 29 年度 平成 30 年度 令和 1 年度	
事業の対象・目的 目的(どういう状態にしたいのか) 最終的 林業の生産性の向上を図り、林業農家経営安定のため林道の整備を行います。 事業の活動内容 具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで) ① 林道の管理と整備 ② ③ ④ ⑤ 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 29 年度 平成 30 年度 令和 1 年度	
対象・目的 目的(どつい) 大態にしたいのか) 本度 事業の活動内容 具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで) ① 林道の管理と整備 ② ③ ④ ⑤ 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 29 年度 平成 30 年度 令和 1 年度	
PLAN たいのか) 今年度 具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで) ① 林道の管理と整備 ② 活動内容 ③ ④ ⑤ 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 29 年度 平成 30 年度 令和 1 年度	
事業の (2) 活動内容 (3) (4) (5) 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 29 年度 平成 30 年度 令和 1 年度	
事業の 活動内容 ③ (3) (4) (5) 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 29 年度 平成 30 年度 令和 1 年度	
活動内容 ③ ④ ⑤ ⑤ 「	
④ ⑤ ⑤ 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 29 年度 平成 30 年度 令和 1 年度	
5 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 29 年度 平成 30 年度 令和 1 年度	- 45 - I -
	最終目標
数値目標 dg la m	
及び活動内	
Tak Ta	
を測る指標)	
実績	
予算費目 会 計 一般会計 一般会計 款 6 農林水産業費 項 3 林業費 目 2 治山費	
平成 29 年度決算 平成 30 年度決算 令和 1 年度予算 備考	
国庫支出金 千円 千円 千円	
県 支 出 金 1,575 千円 1,800 千円 千円	
<u> 直接事業費</u>	
プロー・・・・・ その他特定財源 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
● 般財源 2,388 千円 2,898 千円 0 千円	
計(A) 3,963 千円 4,698 千円 0 千円	
正職員工数·経費 2.000 人 11,860 千円 2.000 人 11,610 千円 2.000 人 12,075 千円 人件費(B) 臨時・嘱託職種	
<mark> 八 八 </mark>	
臨時·嘱託工数·経費 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円	

			チェック項目		一次	(評価	一次評価の説明	二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	大きい	森林の施業計画の達成のため のアクセス道路として必要な施	○ 少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	策です。また、森林の整備は	○ ない	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない	カーボンオフセット・水源確保・防 災には欠かせない事業です。	<u></u>	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	いない		○ <i>い</i> る	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる	森林の持つ多面的機能を発揮させるためには施業が欠かせな	○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	● いえる	く、そのためには林道は大変有	○ いえない	いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない	効なアクセス手段です。	○ する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる		○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に比	べて劣っている	危険箇所の林道については、概 ね整備できています。	○ 目標に比/	て劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上が	^{でっていない}	14金سできています。	○ あまり上が・	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<u> </u>	概ね達成	している		● 概ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達成	たしている		一 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	現在のところ適当です。	○高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない		○ できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない		<u></u>	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない		<u></u>	● ない
			一次評価				二次評価		
	評化	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価	Ų		有効性 達成度 効率性	生 総・	合評価
		多の	4 4 4 3 4 4 A ○ 拡大・充実	华	0	4 拡大∙充実		<u> </u>	_ <u>A</u>
		対性		, 4		縮小	統合/終期設定 ○ 廃止/休		女礼守
A	/31	312	C WELL INCOME C DEED FILE				評価での指摘事項及び一次評		
ACTIO		面の	林道改良事業の危険個所については、概ね整備は完了しました。今後は に維持管理に努めます。	、適均			に必要であることから、適切に維持		
N	وع	革案 実行 ·画	毎年度、林道の危険箇所の点検を行い、整備等を図ります。		小小儿	三は、林竹日生	i-必女(ののLCがり、処別に離れ	T E 42 (1) J (1	1C & Y o
		員会 事項							